

SDGs学生サミット

まちづくりゲームを活用した SDGsワークショップの取り組み

2022/2/19

名古屋市立大学 三浦ゼミ



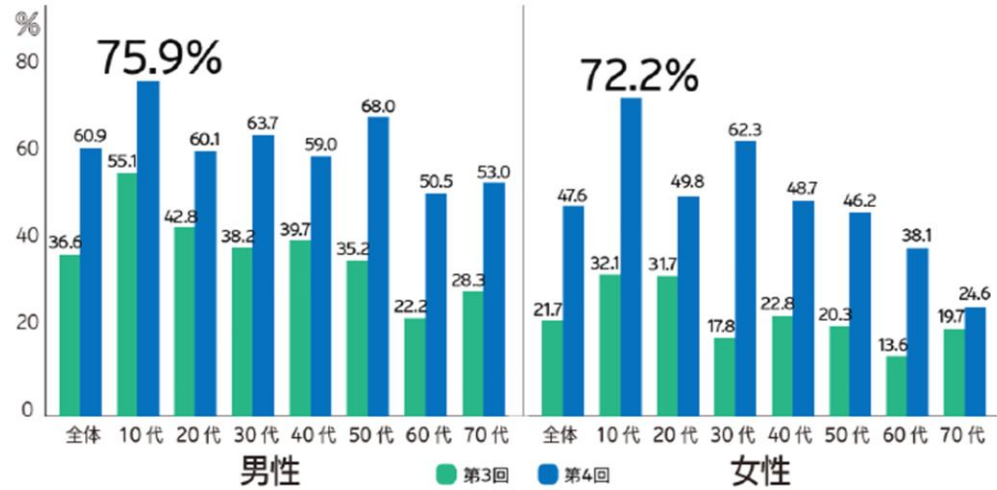


ワークショップを実施した背景

- ・ 従来、瑞穂区役所の協力のもと区内の高校 7 校が参加する「**ヤングサポーターみずほ**」という地域コミュニティの活性化を目指す団体が存在。
- ・ 近年、名古屋市の課題としても挙げられている**SDGs**について、楽しみながら学ぶ機会の提供。
- ・ コロナ禍ではあるが、**他校との交流**を深める。

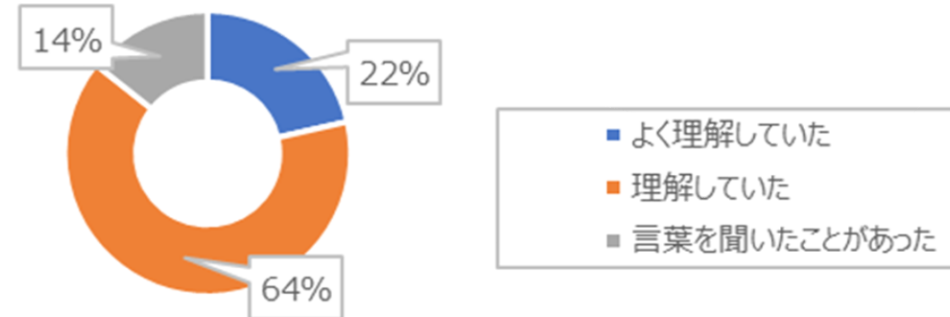


現状分析① SDGsの認知度



図表2 SDGs認知率（性年代別・前回調査比較）

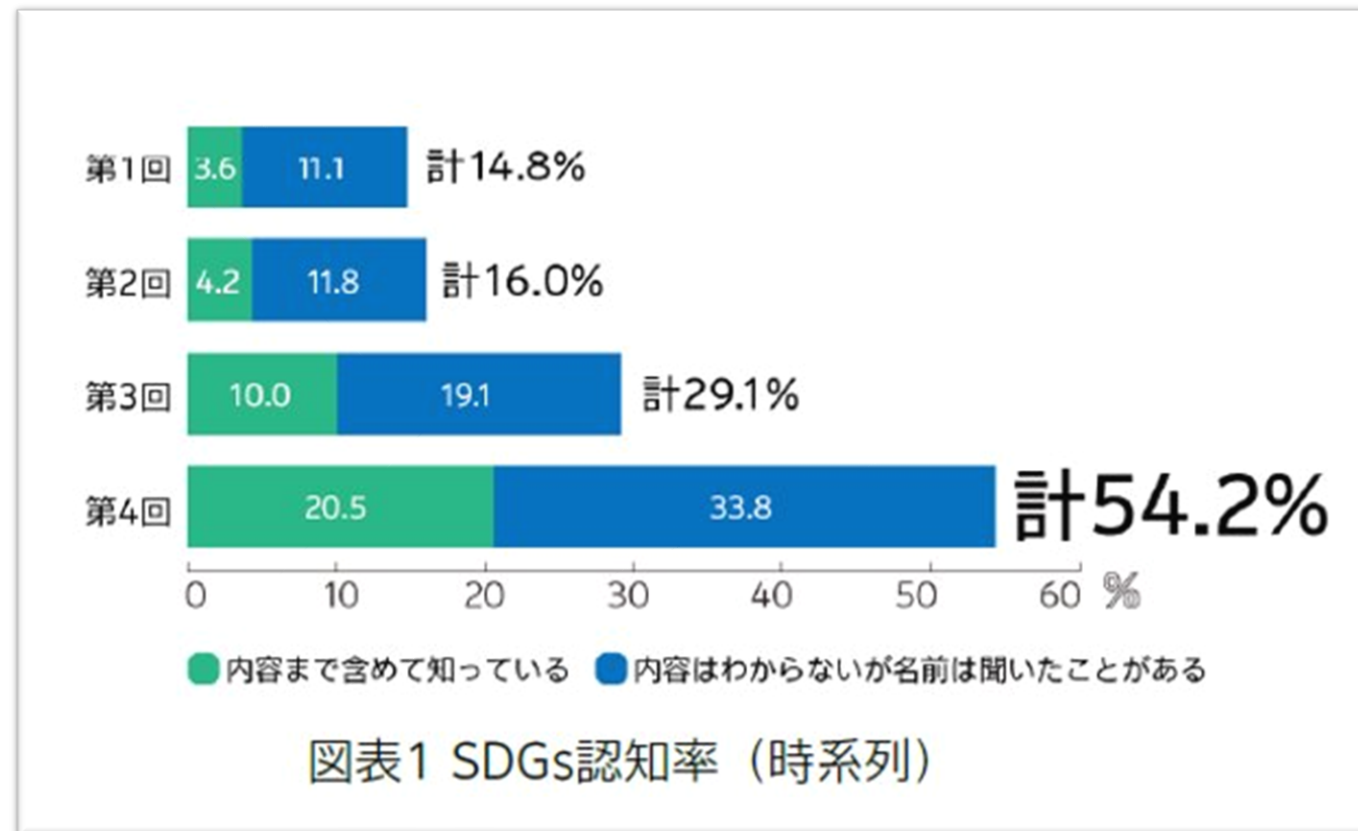
WSに参加した高校生のSDGsの認知度



- ・ SDGs の認知度は上がっている。
- ・ 特に若者の認知度は高い。



現状分析① SDGsの認知度



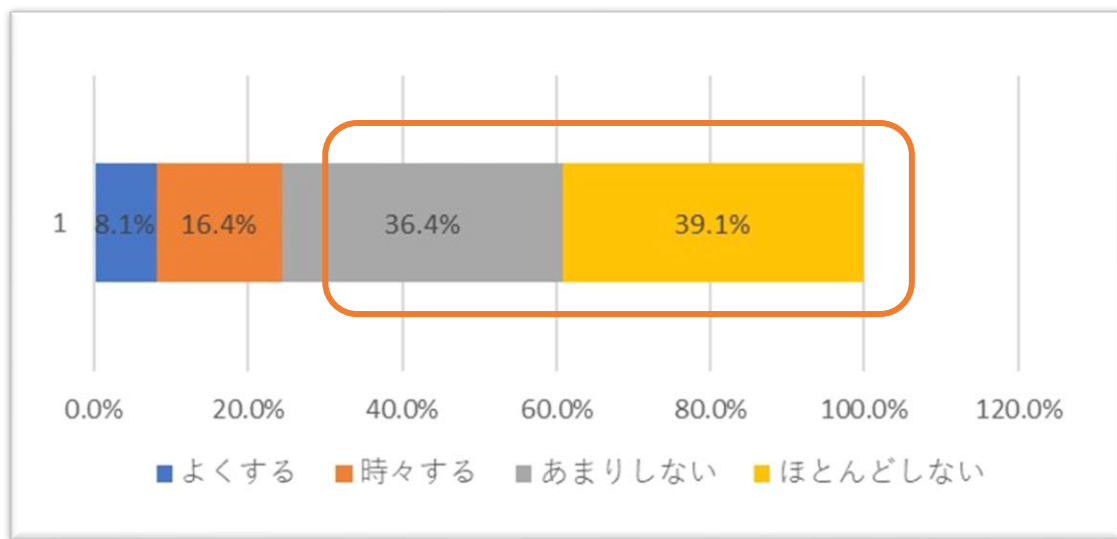
- ・ 認知度は上がってきている。

➡ しかし、**内容まで含めて知っている人**の割合は**約20%**にすぎない。

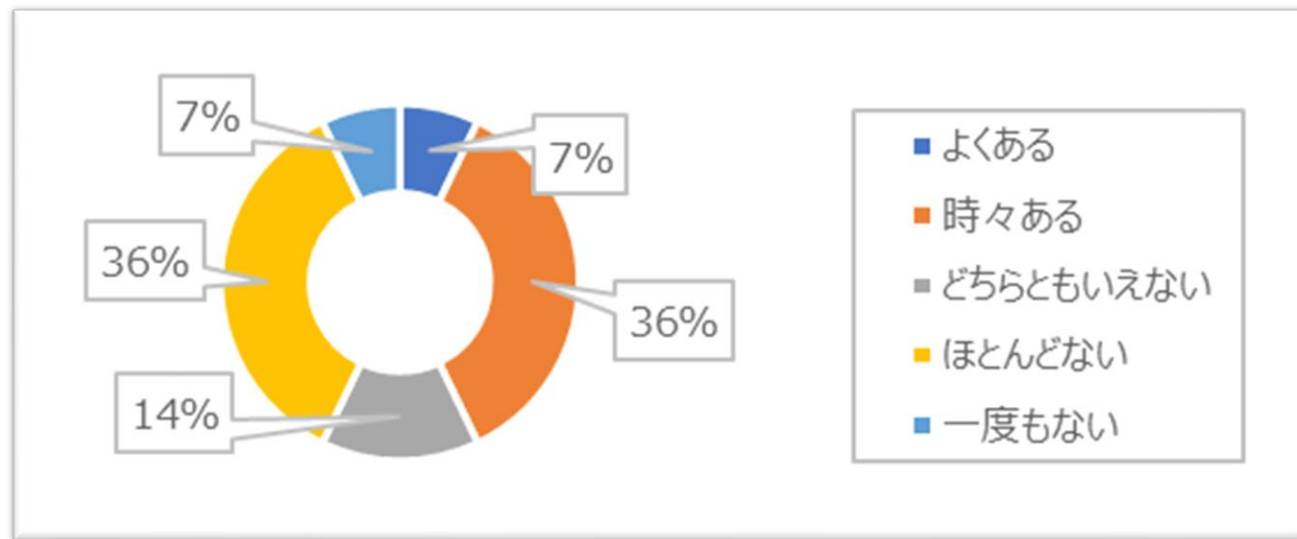
現状分析② 若者の地域課題への意識



若者の課題探求学習の機会の有無
(三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社)



今回参加した高校生の
地域問題について考える機会の有無

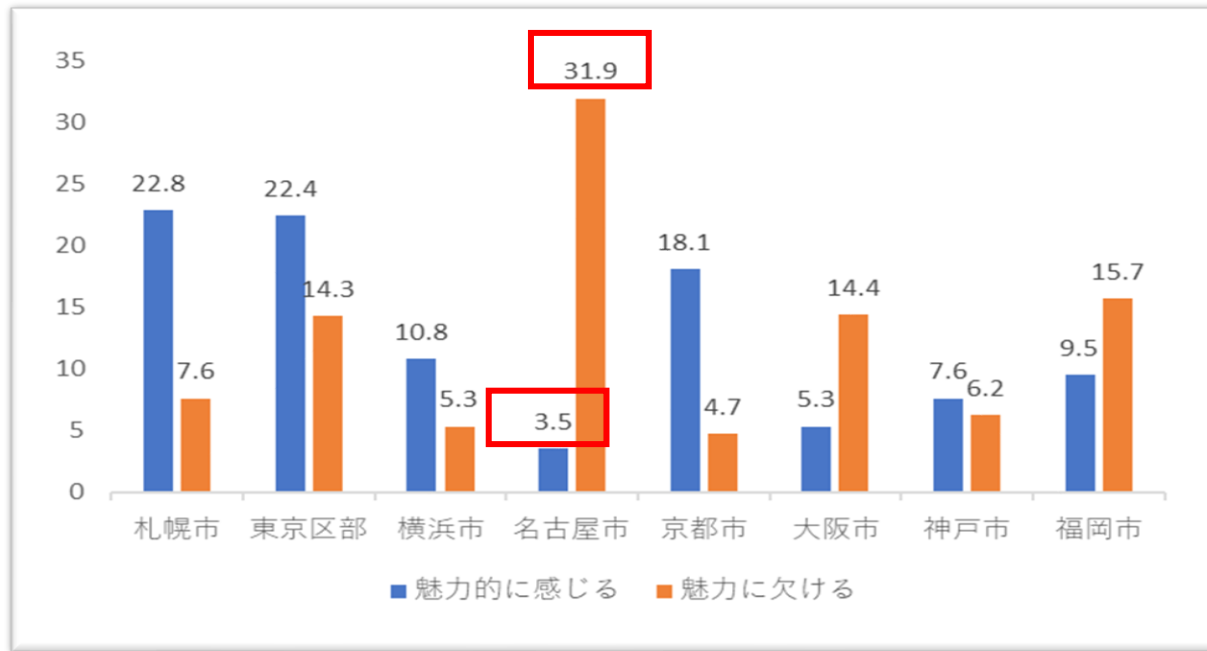


- ・ 地域の問題について考える機会がほとんどない。
- ・ 若者と地域のつながりが弱い。

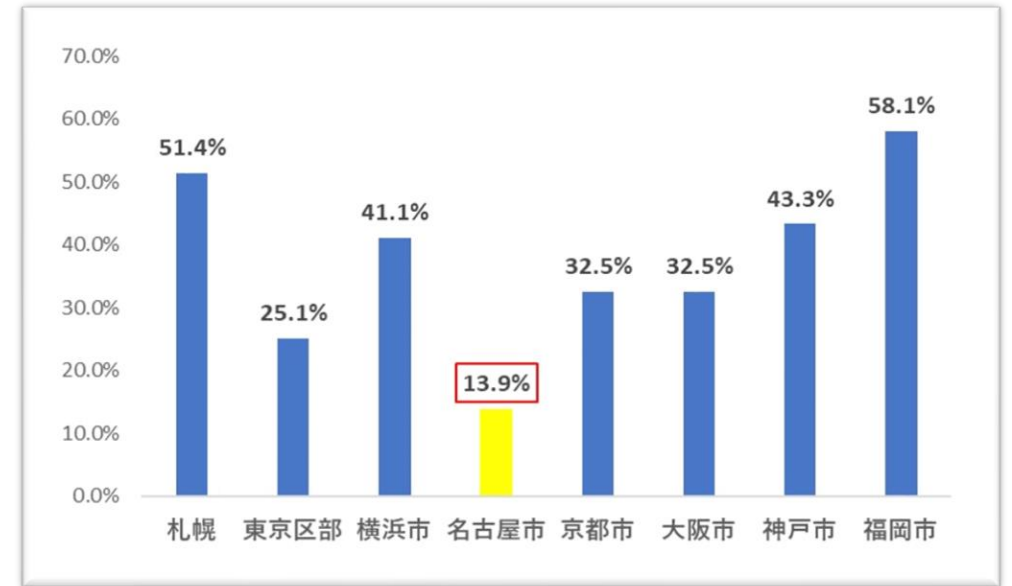
現状分析③ 名古屋市民のシビックプライド



都市の観光魅力度
(2018年都市ブランドイメージ調査)



自分が住んでいる都市の推奨度
(2018年都市ブランドイメージ調査)



Q 現在お住まいの都市に買い物・遊びなどで訪れることを友人・知人に薦めたいですか。

- ・ 2018年都市ブランドイメージ調査において、名古屋市は最も魅力に感じる都市で最下位、最も魅力に欠ける都市で最上位。
- ・ 市民による名古屋市の推奨度は8都市の中で最も低い。



①内容まで含めたSDGsの認知度が低い

②地域課題に触れる機会が少ない

③名古屋市民のシビックプライドが低い

ワークショップの目的



①SDGsの理解を深めてもらう

②地域の問題について考えてもらう

③名古屋市の魅力に気づいてもらう

ワークショップの概要



名古屋観光まちづくりワークショップ

高校生を対象に観光とSDGsをテーマにした**まちづくりゲーム**を実施

- 主催 : 名古屋市立大学三浦ゼミ3年
- 協力 : 名古屋市瑞穂区役所地域力推進室
- 実施日時 : 2022年1月13日
- 実施場所 : 瑞穂区役所2階 さくらルーム
- 参加人数 : 高校生23人、大学生13人、他大学教員・高校教員
- 参加団体 : 瑞穂区に所在する高等学校5校
(学校法人瀬木学園愛知みずほ大学瑞穂高等学校、
学校法人愛知享栄学園享栄高等学校、
愛知県立昭和高等学校、愛知県立瑞陵高等学校、
学校法人尾張学園名古屋大谷高等学校)



ワークショップの詳細



まちづくりゲームの内容

①1stゲーム 目指せ名古屋市観光マスター○×ゲーム！

名古屋観光にまつわる○×クイズを計7問出題

正解数に応じて2ndゲームで利用できるボーナスカードを獲得できる



名古屋市の魅力について気づく

②2ndゲーム 持続可能な未来にたどり着け！まちげーすごろく

名古屋観光における課題を3問出題

カードを用いて解決策をチームで考えてもらう



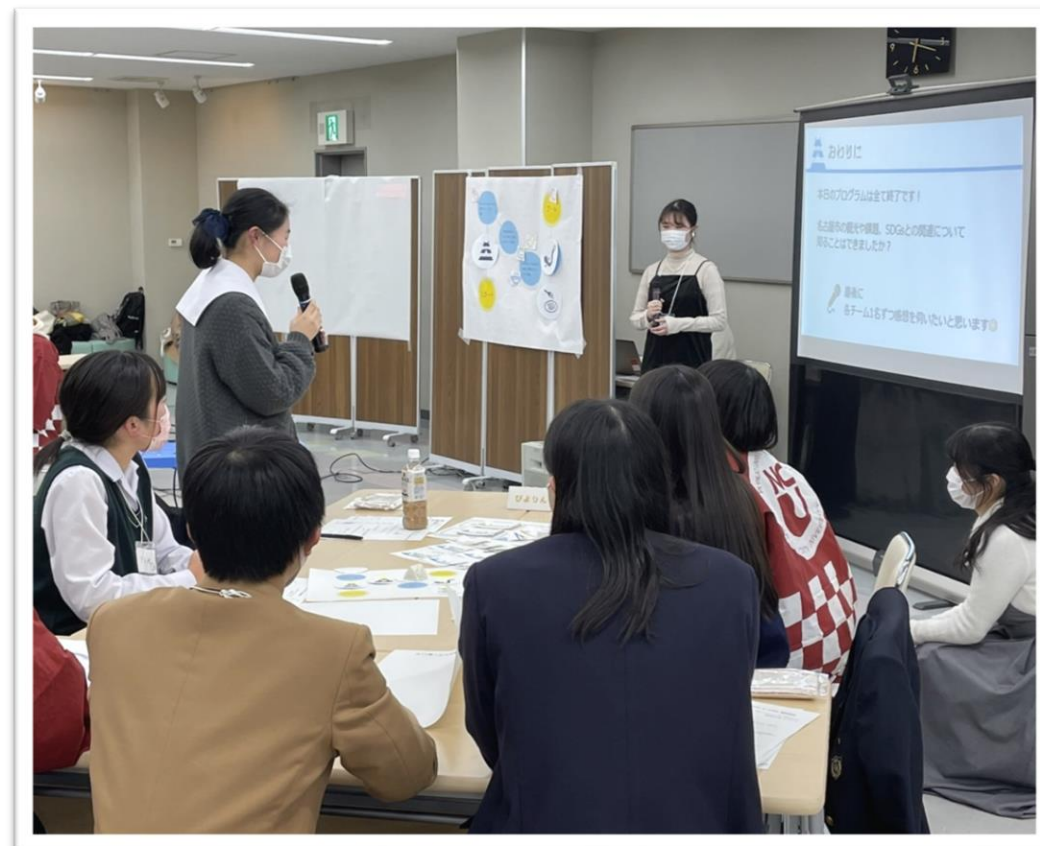
SDGsの理解度を深める・地域の課題について考える

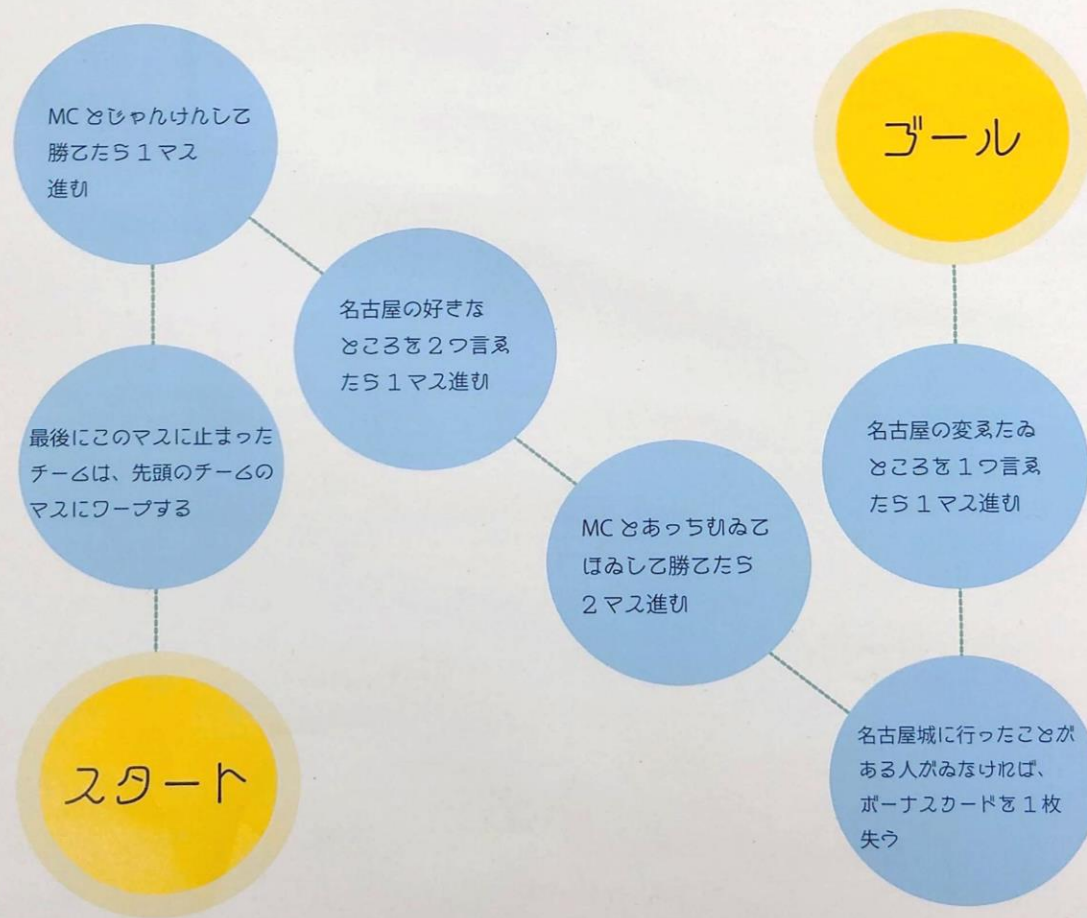
ワークショップの詳細



2nd ゲーム 持続可能な未来にたどり着け！まちげーすごろく

- ①名古屋観光における課題を提示
- ②ノーマルカードを5枚引く
- ③ノーマルカード・ボーナスカードを用いて
課題の解決策を考える
- ④発表・投票
- ⑤投票で1～3位になったチームは、
すごろくを進めることができる
- ⑥3問終了後、ゴールしたチーム
もしくはゴールに1番近かったチームが優勝





当日使用したすごろく

ワークショップの詳細



①課題の提示

第1問

名古屋城や熱田神宮を訪れる観光客が増えましたが、
建物への落書き、騒音など
観光公害が発生しています。

ルールやマナーをみんなに知ってもらうには
どうしたらよいでしょうか？

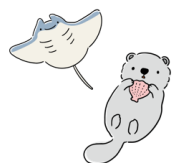


🕒 8分

第2問

名古屋港水族館では
日本初の常設の環境教育ルームが開設されています。
そこでは現在問題視されている海洋プラスチックと
生物の関係に関する展示がされています。

プラスチックごみを減らすために
何ができるでしょうか？



エコ・アクアリウム
～海の未来を考えよう！～



🕒 8分

第3問

名古屋市には魅力的な観光地がありますが
推奨度が低いことから、
市民自身がその魅力に気づけていないと考えられます。
名古屋市民が魅力を知るにはどうしたらよいでしょうか？

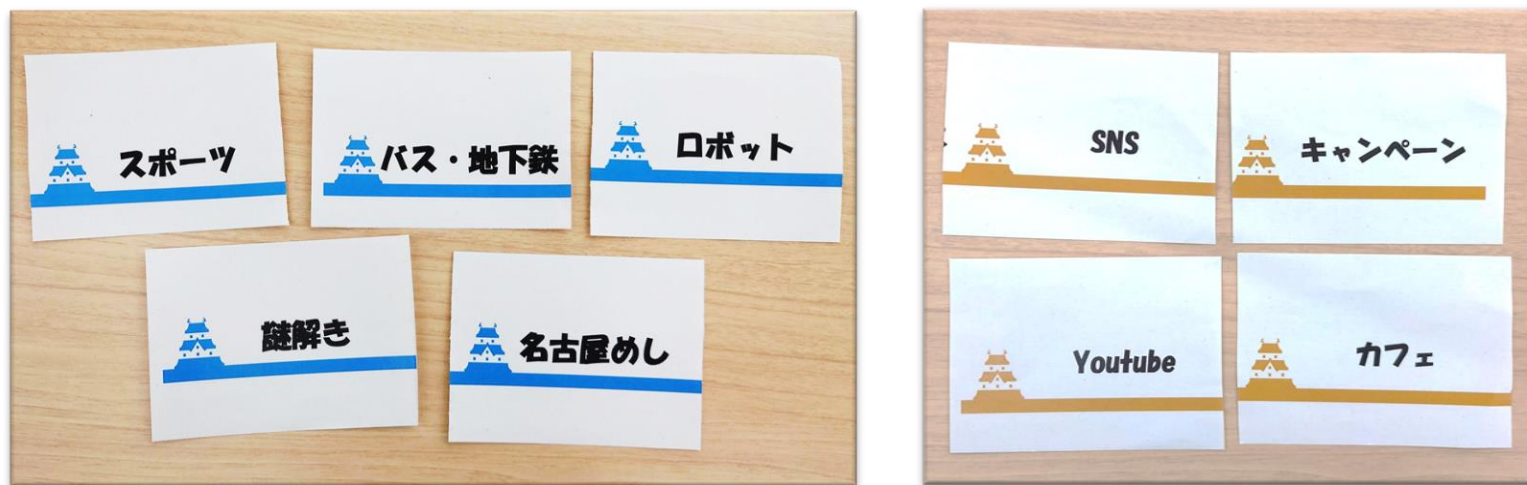


🕒 8分

ワークショップの詳細



- ② ノーマルカードを5枚引く
- ③ ノーマルカード・ボーナスカード(1stゲームで獲得できる)を用いて問題に対する解決策を考えてもらう
 - ・ カードの枚数、組み合わせ方は自由
 - ・ 投票基準→実現可能性、問題解決力、アイデアの面白さ



当日使用したノーマルカード・ボーナスカード

ワークショップの詳細



③発表・投票

発表例

【第3問】 名古屋市には魅力的な観光地がありますが推奨度が低いことから、市民自身がその魅力に気づけていないと考えられます。名古屋市民が魅力を知るにはどうしたらよいでしょうか？

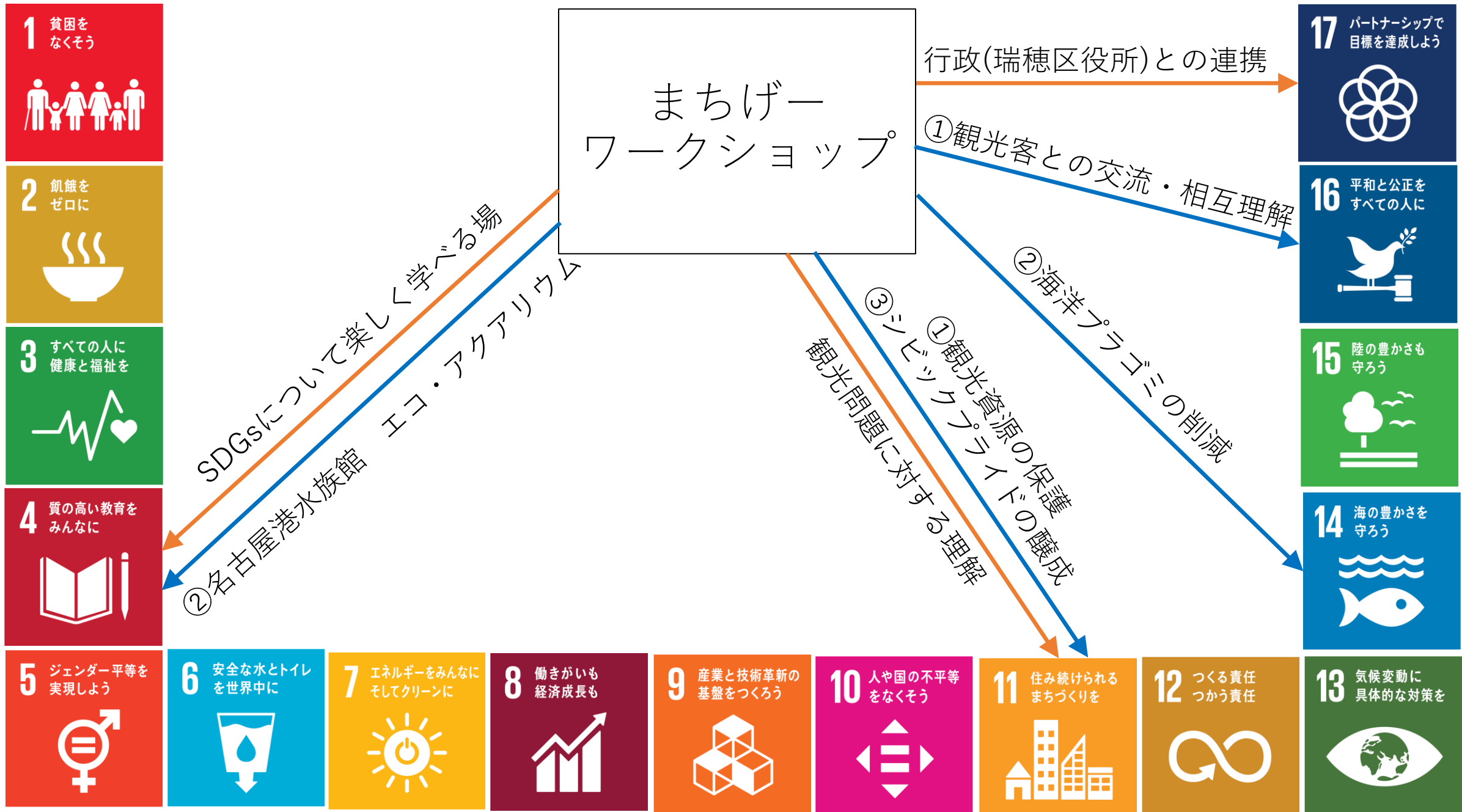


- ・ 今ある観光資源を知ってもらう
- ・ 市民視点ではなく、観光客視点で楽しんでもらう



名古屋市民だと安くなる宿泊プラン

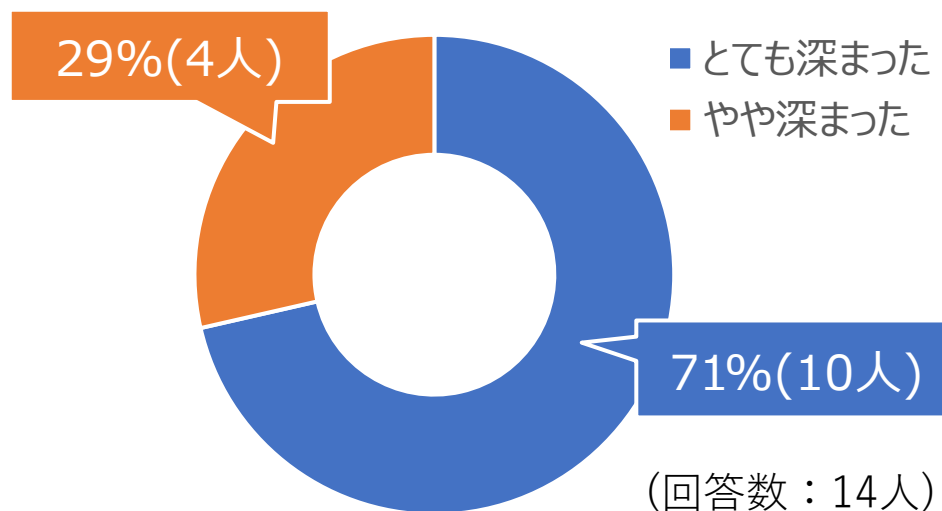
- ・ アプリから予約可能
- ・ 雑誌を使って広報
- ・ 名古屋城を着物で巡る
- ・ 結婚式の前撮り写真を撮れるプランも



ワークショップの事後評価



SDGsへの理解度



WSの感想



一見関係のなさそうなものでも取り入れることで、より解決に近づくところに面白さを感じました。



今日学んだことを生かし、もう一度環境問題などSDGsについて考えて行動に繋げていきたい。



ワークショップにより

SDGsと10代がかかわる「きっかけ」を提供できた



今後の展開イメージ

○まちげーの更なる改善

中学校でのまちげー実施（今年度はコロナで断念）



知識がない人にも

より親しみやすく、学びを得やすいゲームづくり

今後の課題



地域参加への連結

○住民と若者の交流の場の提供

高校生も含め、地域住民に向けたまちげーワークショップ



世代を超えた地域の人との交流の場の提供

○アイデア実現の場の創出

ワークショップで生まれたアイデアを行政と共に実現



より「**自分事**」として地域課題を捉えられるように

ご清聴ありがとうございました

